



園児たちが勤労感謝活動を行いました 「保つとひといき」



- P 2 第37回 根羽やまあいフェスティバル
- P 3 信州学び円卓会議/他
- P 4 ふるさと納税
- P 5 地域おこし協力隊/他
- P 6 セルフメディケーション/他
- P 7 第5回 臨時議会/他
- P 8 杉っ子だより

[今月の表紙]

保育所の園児達が村内の事業所を訪問し、勤労感謝活動を行いました。

[詳細は8ページ]

第37回 根羽やまあいフェスティバル

10月8日に開催される

今年で37回目を迎えた根羽やまあいフェスティバルが10月8日に、4年振りに開催されました。今回のフェスティバルではコロナ禍で交流が減るなか今一度、人と人のつながり「縁」を見直し、祭りと言えは「縁日」、皆でイベントに参加し、楽しんで欲しいとの思いから「一年に一度の大縁日」をテーマに掲げました。

当日は、昼から雨が降り出すあいにくの天気になりましたが、ステージでの大道芸スペシャルをはじめ、根羽学園音楽部・公募団体や文化クラブによる芸能発表等が行われ、最後には参加者全員参加によるじゃんけん大会が行われました。

グラウンドでは、商工会・JA・杉っ子・婦人会・森林組合・信州大学農学部、ブルベリーのこみち、くりやによる源流マルシェ等の各種販売に加え、ふれあい移動動物園、公民館の縁日コーナー、(株)桐工務所の協力による建設重機試乗体験など、盛況に開催され、にぎやかな歓声が響きました。

また、トレーニングセンター内では、(株)ジーエスエレクトリックの協力による設立50周年記念展示のほか、観光協会、なごみ、有閑荘、社協、保育所、学園等による作品展示、子ども達が企画・運営したレクレーション体験も行われました。



信州学び円卓会議

長野県では、子どもたちの「個別最適な学び」の実現に向けて、幅広い関係者が一堂に会し議論するため「信州学び円卓会議」を立ち上げ、9月1日に阿部長野県知事も出席し第1回目の会議が開催されました。

この会議をうけ、生徒や教員等の当事者や地域住民から直接意見を聞く機会として、県内7か所で意見交換会を開催することとなり、9月23日に根羽村のやまあいホールで「第1回信州学び円卓会議県民意見交換会in根羽村」が開催されました。

意見交換会では、村内及び各地域からの参加者11人がそれぞれの思いを発表し、円卓会議の三輪委員等との意見交換が行われました。

詳細につきましては、長野県のホームページ内に掲載されていますので、ご覧ください。



新型コロナウイルス感染症対策、原油・物価等高騰対策事業について

新型コロナウイルス感染症対策、原油・物価高騰対策として交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について、令和4年度実績と、5年度計画（実施中）についてお知らせします。

令和4年度事業実績

事業名	事業の概要	総事業費	臨時交付金	その他
地域経済活性化事業	商工会が発行するプレミアム付商品券発行事業補助(プレミアム分、事務費を補助)(商品券7,000万円×20%、事務費)	14,052,816	14,030,000	22,816
新型コロナウイルス疑似症状発症者等移送支援事業	西部3村による移送タクシー運行経費と利用時のタクシー代補助(運行経費負担90万円)	900,000	880,000	20,000
感染症対策施設整備事業	学校、保育所の感染症対策施設整備(根羽学園)非接触自動水栓化8箇所、換気扇整備9教室、網戸整備13教室(根羽保育所)手洗い温水化、非接触自動水栓化	15,895,000	15,890,000	5,000
感染症対策施設整備補助事業	福祉事業者の実施する感染症対策整備に対する補助(ねばねの里なごみ)エアコン設置、非接触自動水栓化(有閑荘)非接触自動水栓化	7,314,800	7,300,000	14,800
感染症対策検査充実事業	抗原検査キット購入	650,000	620,000	30,000
農業経営支援事業	農業所得申告者を対象に、農業肥料高騰対策のため肥料代の一部を補助	207,000	200,000	7,000
畜産経営支援事業	飼料高騰対策のため、畜産事業者に対し助成(乳牛：4,000円/1頭 肉牛：5,000円/1頭)	497,000	450,000	47,000
原油・物価高騰対策生活支援事業	原油、物価高騰対策として、村内で使用できる商品券を全戸に発行(村民874名に合計1,077万円、事務費38.8万円)	10,948,980	10,900,000	48,980
原油・物価高騰対策事業者支援事業	原油、物価高騰対策として、商工会会員に従業員数に応じて補助金を交付(村内商工会会員49事業者に交付)	4,610,000	1,589,000	3,021,000
電気料高騰対策事業者支援事業	電気料高騰対策として、令和3年中の電気料の合計が100万円を超えた商工会会員を対象に、令和4年中の電気料との差額を補助対象として補助金を交付	12,600,000	10,739,000	1,861,000

令和5年度事業計画（令和5年11月現在）

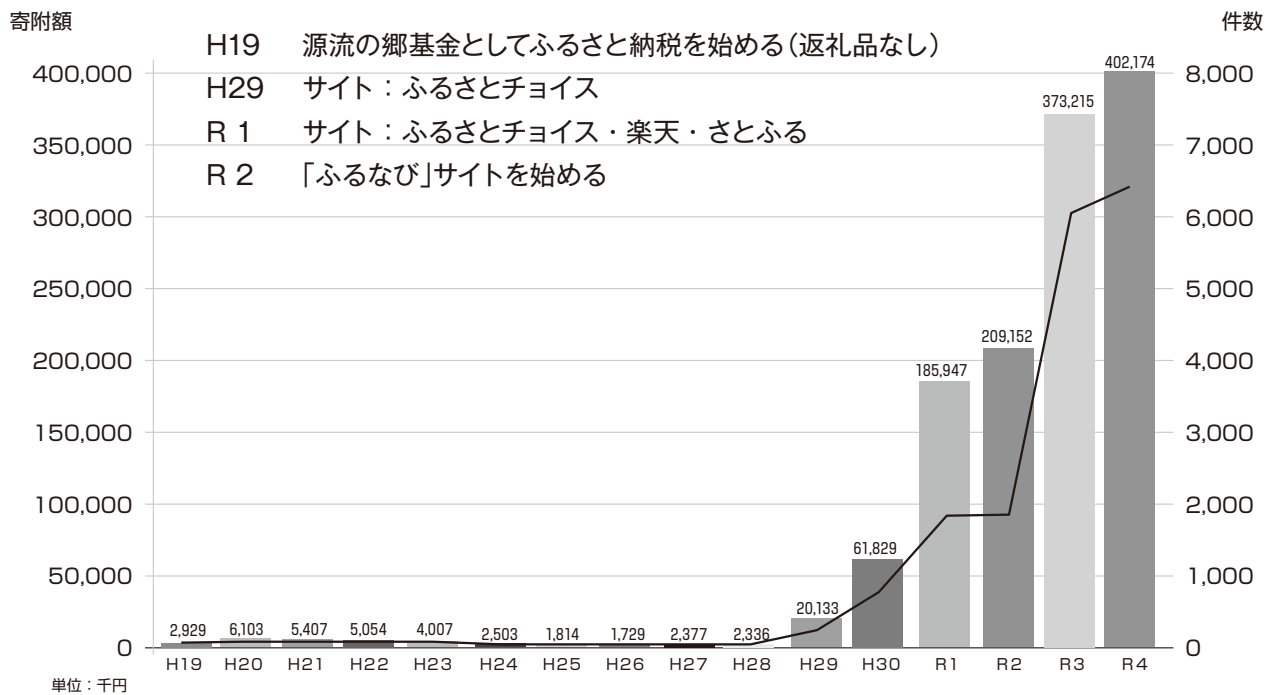
事業名	事業の概要	総事業費	臨時交付金	その他
根羽村電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業	コロナ禍におけるエネルギー、物価高騰の影響が大きい住民税非課税世帯へ支援	3,648,000	2,883,000	765,000
農業経営者支援事業	農業所得申告者を対象に、農業肥料高騰対策のため肥料代の一部を補助(15,000円/1軒)	600,000	540,000	60,000
畜産経営者支援事業	飼料高騰対策のため、畜産事業者に対し助成(3,000円/1頭)	348,000	335,000	13,000
原油・物価高騰対策生活支援事業	原油、物価高騰対策として、村内で使用できる商品券を全戸に発行	5,588,000	5,320,000	268,000
原油・物価高騰対策事業者支援事業	原油、物価高騰対策として、商工会会員に従業員数に応じて補助金を交付	4,900,000	4,600,000	300,000



根羽村矢作川源流の郷ふるさと寄附金事業について

矢作川源流の郷ふるさと寄附金事業は、平成19年から水源の郷基金として始まり、平成29年から返礼品制度を設け広く寄附の募集を開始しました。村内事業者の皆様のご協力により、返礼品も大変好評をいただいております。また、インターネットサイトを増やしたことにより、寄附金額は令和元年から大幅に増加しており、令和4年では、寄附件数65,323件 寄附金402,173,534円となりました。全国各地から、寄せられた寄附金につきましては、村の重要な財源として大切にに使わせていただいております。

根羽村のふるさと納税の実績



ふるさと納税寄附金の使い道

R4寄附金使い道状況 85,283千円

- ①水源・森林保全、自然エネルギーの活用など環境保全に関する事業 20,889千円
- ②森林林業に関する技術の普及、遊休農地の活用、
山村文化・木材芸術などを生かした地域振興に関する事業 30,620千円
- ③住民の助け合いや福祉の充実に関する事業 33,274千円
- ④その他の事業 500千円

R5当初予算使い道状況 237,502千円

- ①水源・森林保全、自然エネルギーの活用など環境保全に関する事業 16,597千円
- ②森林林業に関する技術の普及、遊休農地の活用、
山村文化・木材芸術などを生かした地域振興に関する事業 37,411千円
- ③住民の助け合いや福祉の充実に関する事業 113,429千円
- ④その他の事業 70,065千円

地域おこし協力隊の紹介

こんにちは！根羽村地域おこし協力隊の上村小春です。

4月に根羽村に赴任してから半年が経ちました。半年とは思えないほどたくさんの方々に出会い、様々な経験をさせていただきました。私は、主に根羽村の教育に携わっていますが、学園の子どもたちの成長を間近で感じられるのは大きなやりがいです。総合的な学習の時間では、村の人に出会い新しいことをどんどん吸収する前期課程の児童や、村の新しいことにチャレンジする後期課程の生徒と関わることを通して、「根羽村の教育をもっと良くしていきたい」という思いが強くなっています。

また、このような取組に協力いただいている村の方々からのあたたかいお声も励みになっています。「子どもたちのためなら」と言って支援していただいているみなさんとの繋がりを大切に、今後も活動して行きたいと思えます！



退団予定者、筒井分団長

実際にデモ機を使用しながら講習を受けました。今年度末に、長年にわたり根羽村消防団で消防活動に従事された1名の方が退団される予定です。

根羽村消防団秋季訓練

10月22日(日)に山村広場で消防団秋季訓練が行われました。訓練は、規律訓練を中心に小隊訓練及び中隊訓練を行いました。団員一人一人が集中して取り組み、訓練に臨みました。また、今回は救護班の訓練も行われ、飯田広域消防本部より講師を招き、AEDの基本的な扱い方について、実



新任教育委員

石原八重子さん(横旗)

任期 令和5年10月1日)

令和9年9月30日

教育委員について



秋になり行楽シーズンに入るため県外からの車が増加します。外出する際は交通事故に充分気をつけましょう。

交通安全の啓発品として、チラシなどの他に「マナーアップル」ということで特産品のりんごを配りました。

交通指導所が実施されました



根羽村国民健康保険 セルフメディケーションってなに？

平均寿命が長くなり、生活習慣病などが問題になってきた現代で、健康に生きるにはどうすべきかが問われています。ここで注目されているのが「セルフメディケーション」です。セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と世界保健機関（WHO）は定義しています。

☆セルフメディケーションとは

日々の生活で、天候不順や仕事の忙しさなどからかぜや腹痛、軽いけがなどの体調不良を起こすことがあります。そんなときは、OTC医薬品（一般用医薬品：市販薬）を上手に利用し、自分で手当てすることを「セルフメディケーション」といいます。具体的には、かぜをひいたときにかぜくすりをのむ、小さな傷にバンソウコウを貼る、疲れたときにビタミン剤をのむなどです。健康に過ごすためには、自分の健康は自分で守ることを意識し、積極的に健康管理にかかわることが大切です。そのためには、病気やくすりについての正しい知識を身につける必要があります。正しい知識があれば、軽い症状を自分で改善して、生活習慣病の予防や健康維持に役立てることができます。普段から適度な運動と栄養バランスのよい食事、十分な睡眠時間を確保し、自然治癒力を高めましょう。

☆セルフメディケーションの効果

1. 毎日の健康管理の習慣が身につく
2. 医療や薬の知識が身につく
3. 疾患により、医療機関で受診する手間と時間が省かれる
4. 通院が減ることで、国民医療費の増加を防ぐ

☆日ごろから自分の健康状態と生活習慣をチェック

セルフメディケーションの基本として、自分のからだの状態を知っておくことが重要です。健康診断の結果に注目し、かかりつけ医に相談しながら生活習慣を見直します。家庭で体重や体脂肪、血圧などをチェックする機器を使い、自分の健康状態を確認し、健康管理の意識を高めましょう。

☆かかりつけの薬剤師やおくすり手帳の活用

自分の体質や状態、症状に合ったくすりを適切に使用するためには、かかりつけの薬局や薬剤師を決めておくことで、自分の体質に合ったアドバイスを受けられます。また、医師から処方されるくすりとの重複利用による悪影響や、のみ合わせによる副作用なども防ぐことができます。

自分ののんでいくすりを正確に知り、副作用などの問題を防ぐためには、おくすり手帳を作成して自分が現在服用しているくすりの管理を行いましょう。この手帳は、医師や薬剤師にくすりの情報を伝えるときにも役立ちます。

☆ 注意 ☆

◆正しい情報と正しい知識を身につける

わからないときは自己判断をせず、薬局の薬剤師など専門家の指導を受けながら行いましょう。

◆正しい用法と用量を守る

OTC医薬品を使用する際は、必ず説明書を読んで、正しい用法、用量を守りましょう。誤った使用法は症状を悪化させることもあります。

◆OTC医薬品とサプリメントの違い

サプリメントなどの健康食品は医薬品とは異なり病気の治療を目的とするものではありません。病気ときは薬剤師やかかりつけ医に相談し、正しく対処しましょう。



アイシングループ「人と森をつなぐ森づくり活動」が開催されました

11月11日に「人と森をつなぐ森づくり活動」がネバーランド周辺で行われました。当日はアイシングループの社員とご家族の皆さんあわせて100名余の方が参加され、山地放牧体験、植樹・芝張り活動を行いました。

今年も、信州大学農学部にも協力いただき、紙芝居を用いた森の仕組みについての環境学習や山地放牧体験、今年初の試みとして、山地放牧地開墾時に切り開いた作業道に、植樹と芝張りを行うことで、森本来が持つ水源涵養機能や防災機能を取り戻す「森づくり活動」を実施しました。この活動を通してカーボンニュートラルへの貢献と参加者の自然環境保護意識の向上を図ることをテーマに楽しみながら環境に対する意識を高めました。

今後、アイシングループと「森林の里親促進事業」を通じ、協力して森林整備・環境保全を進めていきます。

第5回 臨時議会を開催

11月1日に、第5回臨時議会が開催されました。内容については、次のとおりです。

契約

◆根羽村防災行政無線デジタル化整備工事請負契約の締結について

アナログ式からデジタル式への移行により、無線設備の更新を行うにあたり、契約の締結について議決されました。

補正予算

◆令和5年度根羽村一般会計補正予算(第3号)

黒地地区の土地の取得等により、2億2035万4千円を追加し、29億6382万1千円余りとなりました。

役場職員の異動

◇退職(9月30日付)

西川 彩花

(地域おこし協力隊)

◇異動(10月1日付)

総務課

▽主任

浅井 沙希子(振興課)

◇異動(11月1日付)

教育委員会

▽主事補

市村 諒(総務課)



根羽村の人事行政の運営等の状況を公表します

1. 職員数の状況

(5年4月1日現在)

年度	一般行政									特別行政	公営企業等			総計
	議会	総務	税務	農林	商工	土木	民生	衛生	小計	教育	下水道	その他	小計	
4		5	2	4		3	3	3	20	8		1	1	29
5		6	2	4		2	3	3	20	8		1	1	29
	0	1	0	0	0	△1	0	0	0	0	0	0	0	0

職員の任免状況／新規採用：3人(R5.4.1付)／退職：3人(R4.6.30付)(R5.3.31付)

2. 職員数の状況

普通会計決算

(単位：千円)

区分	歳出総額	人件費	内給与費			人件費比率
			給料	職員手当	小計	
4年度	2,337,394	256,421	83,591	41,537	125,128	11.0%

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

- 1日の勤務時間 8:30～17:15 7時間45分
- 1週間の勤務時間 38時間45分
- 勤務時間を割り振らない日 土曜日及び日曜日
- 休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日～1月3日
- 休暇の種類 年次休暇、療養休暇、特別休暇、介護休暇、組合休暇

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況

該当なし

5. 職員の服務状況

良好

6. 職員の研修等の状況

長野県職員研修センター主催研修等各種研修に参加

7. 職員の福利及び利益の保護の状況

- 加盟団体 根羽村職員互助会・長野市町村職員互助会
- 公費負担状況 根羽村職員互助会 20万円 長野市町村職員互助会 26万7千円

8. 下伊那郡公平委員会報告

勤務条件に関する措置要求 該当なし
不利益処分による不服申し立て 該当なし



根羽学園 若杉祭

9月30日に、根羽学園の文化祭「若杉祭」が行われました。若杉祭は、1年生から9年生まで全校一斉で行っています。今年は、「ONE TEAM ～みんなが一人ひとり活躍できる学園～」をテーマに行われました。式典が始まる前に、児童生徒全員が、その場で模造紙に「ONE TEAM」のアルファベットを手形でかたどり、開祭式でライトアップして会場全体に披露するという新しいイベントを行い、若杉祭がスタートしました。

式典では、総合的な学習の成果を披露するステージ発表や後期課程の代表者による弁論会、前期課程の児童が考えた来場者が参加できる様々な企画である「杉っ子まつり」が行われました。保護者や来場者まで参加した全員が楽しめる「ONE TEAM」の若杉祭になりました。



根羽学園 音楽会

11月17日に、根羽学園の音楽会が行われました。根羽学園の音楽会は、1年生から9年生まで全校一斉で行っています。前期課程の児童は合唱と合奏を、後期課程の生徒は合唱を発表しました。途中には、来入児と1年生合同のお歌、PTAによる合唱、また、音楽部のアンサンブルも行われ、賑やかな音楽会となりました。各学年とも人数が少ないながらも、一人ひとりが大きな声で歌い、素晴らしい音楽会になりました。



勤労感謝の日活動

「保っとひといき」事業を行いました

11月22日(水)に保育園児が働いている皆さんに感謝とエールを送る「保っとひといき」事業を行いました。申し込みのあった(株)片桐工務所、根羽村森林組合、(株)GSエレクトック、根羽村社会福祉協議会、根羽村役場の5事業所の事務所や現場に出向きました。声援をもらいながら、園児たちは感謝の言葉と歌を披露し、最後まで堂々と働いている皆さんにしっかりと感謝を伝えることができました。